毎日の運転を始める前に行う点検の内容

① タイヤの空気圧

タイヤゲージや点検ハンマーで空気圧を確認する。空気圧はドアピラー部の標準
空気圧プレートを確認して調整する。

② タイヤの溝の深さ

タイヤのスリップサイン表示位置（▲位置）の摩耗限度表示を参考にする。尚、高速道路
等を走行する倍委は残り溝の深さの限度が異なるので注意する。（トラック用タイヤ：3.2㎜）

③ 冷却水量

補給しても短時間で再び減少する時は、冷却系統からの水漏れの恐れがある。ラジエター
キャップから冷却水を補給する時は、エンジンが冷えている状態で行う。

④ブレーキ液量

ブレーキ液量が著しく減っている時は、配管からの漏れが考えられる。ブレーキ液の点検
及び補給時にゴミ・ホコリ並びに水分等の他の異物が混入しないように注意する。

⑤エンジンオイル

補給時は、オイル・レベルゲージの「ＭＡＸ」の位置以上にエンジンオイルを入れない
ように注意する。オイルをこぼさないように注意する。こぼした場合は綺麗に清掃する。

⑥バッテリ液量及びターミナル周辺

補充時は、「ＵＰＰＥＲ」レベルを超えないように注意する。

⑦パーキングブレーキレバーの引きしろ

引きしろのノッチ数（カチカチ音）は各自動車メーカーの取扱説明書を参照する。

⑧ウィンドウォッシャの液量・噴射状態

ウォッシャ液があるにも関わらず噴射しない時は、ウォッシャノズルの穴を細い針で清掃し、
詰まりを取り除く。ウォッシャタンク内が空のまま作動させるとモーターが破損する恐れが
ある。

※不足している時は補充し、必要に応じて交換・修理を行うこと